



シール投票を千歳鳥山駅頭で実施しました

7月13日、当会は鳥山駅頭にて原発の再稼働に関する賛否を問う「シール投票」を実施しました。

通常宣伝と違って、住民参加型のシール投票は短時間の行動であったにも関わらず、手応えを感じるものでした。

賛成票を投じた人の中には、原発は第四世代を迎えており、技術的に安全であるという主張をする方もいましたが、圧倒的多数の方が反対でした。

(注) 第四世代原子炉とは、現在研究中の理論上の原子炉の設計基準。一般的に2030年までの商業利



7月13日 千歳鳥山駅頭シール投票実施

用は不可能と考えられています。ただ、超高温ガス炉は2021年に完成予定と言われています。しか

し、新技術創始期の危険性はかなり大きいとされ、一旦事故が起これば取り返しがつかないほどの被害をもたらすことを考えると、やはり原子力発電は即刻廃止すべきでしょう。

規制委員会の川内原発再稼働を認める審査結果に対するパブリックコメントを当会より提出しましたが、このシール投票結果にも触れて、川内原発の再稼働に反対の意見を提出しました。

これからも、このようなシール投票を行っていききたいと思います。

国会前抗議集会に参加しました

8月30日、17時から20時まで行われた首都圏反原発連合主催の川内原発再稼働の目論見に抗議する集会に参加しました。7000人が国会前で抗議の声を上げました。

当会からは鳥山地域に住んでおられるドイツ人の方も一緒に参加されました。

7000人の参加者数とはいえ、継続して取り組んでいることの意義は大きく、川内原発再稼働が遅れているのも、全国各地で取り組まれている市民団体の運動の成果だろうと思いました。

到着順で政党代表の挨拶が

あり、今回も共産党の志位委員長、笠井議員、吉良議員の挨拶が最初でした。志位委員

長は、再稼働の根拠が次々に崩れており、みんなの力で止めようと訴え、大きな拍手を受けていました。(S.T)

